

会員各位

令和 7 年度

重大労災事故事例（No. 23）

重大事故が発生しましたので、事故情報をお知らせします。
会員各位には警備業務実施中の事故防止と、警備員に対する安全教育の一層の推進をお願いします。

（被災区分）

重傷

（被災者の属する企業）

所在都道府県	従業員数
愛知県	500～999名

（被災者）

性別	年齢	経験年数	警備業関係取得資格	
男	49	3 年 7 ヶ月	なし	

（被災状況）

事故発生日時・天候	令和 8 年 1 月 7 日（水） 午後 3 時 35 分頃 天候 晴
事故発生場所 (国・県道等の別)	愛知県三河地方 警備業務対象施設内
当事者	被災警備員
事故の概要	当事者は、警備業務対象施設において、同僚警備員 2 名とともに施設警備業務に従事していた。 当事者は、単独で巡回中、巡回ルート内の 9 段の階段を降りようとした際、階段最上部に落ちていた枯れ枝に足を滑らせ転倒し、そのはずみで最下部まで転落したもの。 当事者は、手すりを使用していたが、転倒を防止することができなかった。 当事者は、意識がある状態で救急搬送され、腰部打撲との診断を受け、さらに後日他の病院を受診したところ、第12胸椎圧迫骨折と診断され、全治 2 ヶ月の重傷を負った。
現場略図	
教訓事項	1 巡回に際し、階段など危険が予想される場所の足元の安全確認を行い、かつ慎重に行動する。特に屋外の樹木が多い場所においては、落葉や枯れ枝が散乱している場所もあることから、特に足元の安全確認に留意する。 2 階段においては万が一を想定して、手すりをしっかりと把持するよう徹底する。
今後の対策	1 本事故および教訓事項を関係者に周知するとともに、同様の事故が発生しないよう再発防止教育を行う。 2 KYに対する意識を向上させるべく、対象施設内の危険箇所をピックアップし、事故防止意識の向上を図る。 3 巡察などの機会に、指導の実践状況について検証し、不十分な点が見られた場合については、再指導を実施する。
備考	